

令和4年度第1回八千代市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和4年5月18日(水)
開 会 午後4時00分
閉 会 午後4時25分
- 2 場 所 八千代市教育委員会庁舎2階 大会議室
- 3 出席者 【構成員】 市長 服部 友則
(敬称略) 教育委員会教育長 小林 伸夫
教育委員会委員 石井 伸一
教育委員会委員 須堯 福美
教育委員会委員 川嶋 一永
教育委員会委員 左海 尚子
- 【説明員】 教育次長 設楽 憲一
教育次長 山本 博章
教育総務課長 原 武司
学務課長 兒玉 健司
指導課長 高原 敬介
教育センター所長 池浦 一寛
保健体育課長 宮崎 幸子
生涯学習振興課長 齋田 忠徳
文化・スポーツ課長 米ノ井 正樹
- 【事務局】 企画部長 高宮 修
企画部次長 安原 信尚
企画経営課主幹 宮崎 敏則
企画経営課主査補 櫻井 徹
企画経営課主任主事 石原 裕文

4 事務局説明

○事務局（宮崎主幹） 定刻となりました。会議開催にあたり事務局より会議について御説明いたします。

この会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、市長と教育委員会で構成する総合教育会議となります。本会議は、公開の会議となっており、本日は、1名の傍聴者がいらっしゃいます。また、会議録作成及び記録のため、音声の録音及び写真撮影をいたしますので御了承ください。

それでは、服部市長、よろしく願いいたします。

5 開会

○服部市長 ただいまから令和4年度第1回八千代市総合教育会議を開会いたします。

会議の進行につきましては、八千代市総合教育会議運営に関する要領第3条第1項の規定により、会議の主催者であります、私が務めさせていただきます。

開会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

6 市長挨拶

○服部市長 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本日の会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

本日の議題は、議題1、義務教育学校「阿蘇米本学園」について、議題2、睦及び高津・緑が丘地域児童生徒数推計の結果についての2つでございます。皆様も御存知のとおり、令和4年4月1日に市内で初、県内で4校目となる義務教育学校「阿蘇米本学園」が開校しました。開校から1か月が経過し、児童生徒たちも少しずつ、学園の生活に慣れてきたことと思います。

このような話題がある一方で、緑が丘西地区の児童生徒数が急増しているという状況がございます。この状況を受けて、教育委員会において睦地区及び高津・緑が丘地区の児童生徒数・学級数の予測を行い、令和4年2月にそ

の報告書をまとめました。現在は、全庁的な組織を立ち上げ、対応について検討しているところでございます。

本日の議題につきまして、後ほど、事務局より説明がございましたが、ぜひ、委員の皆様のお^{たん}忌憚のない御意見を頂戴できればと思います。

以上、簡単ではございますが、私からの御挨拶に代えさせていただきます。

7 議事録署名人の指定

○服部市長 会議に先立ちまして、議事録署名人の指定をいたします。

私のほか、須堯委員、よろしくお願いいたします。

○須堯委員 はい、承知いたしました。

○服部市長 それでは、議事に入らせていただきます。

8 議題

○服部市長 議題1は「義務教育学校「阿蘇米本学園」について」でございます。開校から1か月が経過したところですが、学校の様子などの詳細について事務局の方から説明をお願いいたします。

○兒玉学務課長 4月に開校しました阿蘇米本学園について御報告をいたします。先週金曜日に開催いたしました開校記念式典への御出席、皆様大変ありがとうございました。当日御覧いただきましたように、1～9年生までが一つの校舎で学校生活を送る八千代市初の義務教育学校が開校して、2か月が経^たとうとしております。

ここで改めて、現在の学校の様子について、大きく3点お伝えさせていただきます。

まず1点目は、「通学支援バスを利用した登下校の様子」についてです。

阿蘇小、米本小、米本南小の統合に伴い、これまで阿蘇地域の児童が利用していたバスルートに加え、米本地域の児童が利用する新たなルートを設定して運行しております。子どもたちの安全安心な登下校のため、現在教育委員会の職員が毎日学校に行き、バスを利用する児童への指導の補助をしております。現在のところ、大きなトラブル等の報告もなく、順調に運行されているところです。学校と教育委員会が連携を取り、地域のスクールガードの

皆様の御協力も得ながら、安全安心な登下校の確保に努めてまいります。

次に、2点目は「授業等の様子」についてです。

阿蘇米本学園では、前期課程における教科担任制、前期・後期課程の教員の相互乗り入れ授業を展開しております。具体的には、まず小学校に相当する前期課程の5・6年生では、理科や社会科において専科教員による授業を展開しております。また、中学校に相当する後期課程の授業では、小学校に相当する前期課程の教員が生徒の指導補助を行う姿も見られております。いろいろな行事でも、異学年との交流が積極的に取り入れられて、上級生が下級生の質問に答えたり、下級生の活動を上級生が手助けしたりするなど、年齢を超えて交流する姿が日常となっております。

そして3点目でございますが、「子どもたちの状況」についてです。

開校から1か月が経ちまして、新しい学校、校舎、友達にも慣れてきた様子が見られます。休み時間のグラウンドには、前期課程の児童が新しく設置された遊具で、元気よく遊び、はしゃぐ声が響いています。また前期課程の児童と後期課程の生徒が一緒に走り回っている、ほほ笑ましい姿も見られます。先日の式典でも御覧いただいたとおり、児童生徒が一緒になって活動する中で、前期課程の児童は憧れの存在が身近にすることで、自分の将来像をイメージすることができます。また、後期課程の生徒は、9学年のリーダーという立場で、多くの後輩とともに活動することで、自己の成長を実感することができます。これまでの小学校、中学校とは異なり、たくさんの異学年の子どもたちの交流で、一人一人の子どもの自己存在感が高まっていると考えられます。

終わりに、今後の義務教育学校の運営につきましては、学校評議会での意見聴取や学校評価ガイドラインに基づく学校評価の実施を通し、更なる改善を図っていく予定となっております。

そして、当校が目指す学校の姿として掲げた、「夢と希望の学園＝あそよな」へと育っていきますよう、教育委員会としても支援していく予定でございます。

○服部市長 ただいま学務課長から報告がございましたが、その話を聞いて、また委員の皆さんは開校記念式典に出ていらっしゃると思いますので、それを含め

て意見や御質問がありましたらお願いいたします。

はい、須堯委員。

○須堯委員 まず、開校記念式典に出まして、いい雰囲気だなというか、本当にほっとしたというか、よかったなと拍手したい気持ちでいっぱいでした。

そこで、式典出席は4年生以上の子どもたちがということでございましたが、私も実は米本小学校に在籍していた時がございまして、当時はどの学年も3クラスでした。ところがだんだん減ってきて、お聞きした時には一学年が6人ということで驚いた次第です。そのような中で、このような御苦勞をして、この阿蘇米本学園ができたことは本当によかったと思います。そういったことでちょっとお尋ねしたいのですが、全校の児童生徒数や学級数、教職員数などを教えていただければありがたいです。

○兒玉学務課長 5月1日現在の数字となりますけれども、全校の児童生徒数は492人、学校の教職員数は48人となっております。また、9学年全体の学級数は、通常の学級が18学級、特別支援学級が4学級、合わせて22学級となっております。

○左海委員 異学年間の交流活動が盛んとのことですが、もう少し詳しくお聞かせいただけたらありがたいです。

○兒玉学務課長 入学式が行われたのですけれども、その際は、中2・中3に相当する8・9年生が、小学校1年生に相当する新入生とリボンで手をつないで入場するなど、大変温かな雰囲気での入学式が行われておりました。また、最近ですと、5・6年生の教室を中3に相当する9年生が訪問して、新しい学校における生活上の質問に答えているほか、新たな学校がスタートしているということで、不安に思っている児童がおりますので、そのような交流の時間を作っております。さらには、合同のレクを行い、長縄跳びをしたりする姿も見られております。最後となりますが、6月5日には、5年生から9年生が参加する運動会も計画されておりますので、どのような充実した行事となるのか、期待しているところでございます。

○石井委員 閉校になってしまった跡地利用のことで、何かしら進捗があるのか、やはりその地域にとってはすごく大切なものなので、きちんとした使い方をしてもらいたいですし、まだ日も浅いのできちんと決まっ

いとは思いますが、何か進んでいることがあったら教えてください。

○原教育総務課長 廃校となりました3校の跡地活用につきましては、現在教育委員会に市長部局を加えて検討会を作っております。今後地元の方ですとか、専門的な意見をお聞きしながら、これから検討していくといった形になっております。

○石井委員 市長は何かありますか、青写真とか。

○服部市長 米本小学校・米本南小学校の関係者の方たちは、この義務教育学校に関しての異論があまりなかったのですが、阿蘇小学校の関係者の中に、卒業生を中心に反対する方たちもいらっしゃったということなので、もちろん教育委員会としても、あるいは行政としても、もしかしたら教育委員の方も、こういうのが八千代にあるといいなという要望もあるかもしれないですけども、私はどちらかという第一には、地域住民の皆さんの意向を一番大事にすべきじゃないかなと個人的に思っております。これから教育委員会と資産管理課を含めて、もしかするとコミュニティ推進課が入るかもしれませんが、そこで協議をしていただいて、跡地利用の話に関しては、義務教育学校で廃校になったけれども、こういう利用ができてよかったねと言ってもらえるような対応をしてほしいなと思っております。

○須堯委員 開校記念式典に出ましたときに、8か国の万国旗が置いてありまして、なかなか良いスタートだなと、これから素晴らしいハーモニーの良い学校になるなと思ったのですが、その目指す学校像について少し詳しく聞かせていただきたいと思います。

○兒玉学務課長 現在、阿蘇米本学園の学校教育目標が、「未来を拓き ふるさとを愛し 他者ととともに次代を共創できる人材の育成」となっております。子ども、教職員、保護者、地域住民といった立場の異なる者たちのみんながデザイナーと銘打ちまして、あえて未完成、共感、共生、グローバル、多様性、誰ひとり取り残さないなどをキーワードにして、スクールコミュニティをつくるということを目指しております。

今、委員の話にあった、世界のいろいろな国の国旗が掲示されていたというのはまさに、当校がグローバルを打ち出しているところからの考え方と承知しております。

○川嶋委員 今回、市長の方でウクライナ支援という形をとられたと思います。そうしますと、何らかの支援の中で、八千代市に来る方がいらっしゃるかもしれません。そういうときに、他の学校もいいかもしれませんが、せっかく阿蘇米本学園という形があって、米本団地も衰退化している状況なので、阿蘇米本学園の中で8か国の人たちがいる中で学べると言えれば子どもたちも違和感がなく学校生活が送れると思いますので、何かそういう方向付けが市の方としてできるかどうか、ちょっとお聞きしたいと思ったところです。

○服部市長 ウクライナ支援と結びつけてという話がありましたけれども、実はもうすでに2世帯3名の方が八千代市で暮らしていらっしゃいます。今は担当課で状況やご希望を把握させていただいて、どういう対応をしたらいいのかということを検討している状況です。昨今の状況を見ると、ロシアのウクライナ侵攻は長期化しそうですので、ウクライナから避難をされている方たちも、長期的に八千代市に留まる可能性がありますので、親の方たちに対しては、就業支援といいますか、保護するばかりではなくて、自分で働いて稼いでいただくというのは一つ。

あとはお子さんが来ていますので、お子さんの場合は就学ということも考えたときに、確かに嶺岸校長がグローバルと言っていて、私も良い造語だなと思いましたが、もう八千代市自体が外国籍の方たちが多くいらっしゃる自治体ですけれども、その中でも象徴的な学校が阿蘇米本学園で、他国の子どもたちが学んでいるということは、非常に良いことなのでどのような支援ができるか、きめ細かい対応を図っていきたいというふうに思っています。

○服部市長 議題2は「睦及び高津・緑が丘地域児童生徒数推計の結果について」でございます。

事務局より説明をお願いいたします。

○兒玉学務課長 本日配付されております資料の棒グラフのものを御覧いただけますでしょうか。西八千代地区の児童生徒が急増しているため、昨年度、調査研究事業者の協力を得まして、関係部局と連携し、各校の推計値を算出しました。その結果の概要がこちらの資料となります。

この中で、今後の保有教室数を上回る見込みなのは、みどりが丘小学校と

高津中学校，睦中学校でございます。なお，資料の一番下でございますように，睦中学校の推計につきましては，現在認めている高津中への許可学区制を令和6年度までと仮定し，令和7年度以降は睦中の生徒数として入れ込んだ数字となっております。また，新木戸小学校についても，今後，教室数が厳しい状況になる見込みです。

そこで，これらへの対応を予断なく検討するため，副市長を委員長とする全庁横断的な組織として，「西八千代地区小中学校等対策検討委員会」を立ち上げました。そして，関係部長に集まっておきまして，第1回目の検討委員会を4月18日（月）に行ったところです。また，詳細な調査をするための検討部会を設置し，4月28日（木）に第1回の会議を行いました。今後，検討部会を開き，そこからの報告資料をもとに，上半期を目途に検討委員会で方針を決定していく予定となっております。

○服部市長 次の総合教育会議の中で，ここまで話が進んでおりますとか，こういう対策が可能になりましたとか，そういう話ができるので，今日は今日のような対策で臨んでいるかという点だけ理解いただくのが良いかなと思います。もしもその段階で，委員の皆さんから，こうやった方がいいんじゃないとか，こういう対応をした方がいいと思うものがあれば，御意見を頂ければと思いますが，いかがでしょうか。どんな意見でも結構です。

よろしいですか。本当に手を付けたばかりですから，途中経過を聞いてからの方が，意見も言えるかなと思いますので，今日はこの程度でよろしいでしょうか。今こういう形で進んでいます，というところを，委員の皆様へ報告したという形でできればと思っております。

○服部市長 それ以外，事務局で何かあればお願いしたいと思っておりますが，ありますか。

○事務局（宮崎主幹） 市長からも検討結果の話がありましたので，次回の会議について説明させていただいてもよろしいでしょうか。

○服部市長 お願いします。

○事務局（宮崎主幹） 次回の会議につきましては，10月頃を予定しております。今，検討結果という話がありましたので，上半期の内部の検討状況・進捗状況を見ながら，開催日程につきましては，皆様のスケジュール

ル等を調整させていただいて決定したいと思います。10月頃若しくはそれ以降に開催できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○服部市長 今事務局の方から、次の総合教育会議については10月頃、あるいは10月以降という話がございましたが、こちらは議題2に関係いたします。もしも、議題1、2を通して、例えば本庁と一緒にやっている検討会議で早めに結論が出たという話があれば、必要に応じて少し早めて開くというのも問題がないと思います。一応原則は10月以降に次回の会議、しかし、もしも阿蘇米本学園の問題や、あるいはこの高津・緑が丘地区の問題の対応で、皆さんに早くお知らせをして意見を聞きたい事項が挙げてくるようでしたら、もう少し早めてやるということを御了解いただければと思います。

議題1、2、その他について全部諮ったこととなりますので、今回の総合教育会議はこの辺で締めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

9 閉 会

○服部市長 それでは、これをもちまして令和4年度第1回総合教育会議を閉会とさせていただきます。次回の会議もよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。